

つくしぐみだより

2月号

真冬の寒さになって来ましたが「ジャンバーきる、さむいから」と自分からどんどん仕度をして散歩へ。霜柱をみつけて「どろんこついてる」「きらきらだね」「ちゆめたいね」「あ、おみずになっちゃった」と色々な発見に目を輝かせている子どもたちです。

雪の後は屋上で雪だるま作りや雪合戦など楽しみました。冬ならではの自然を満喫しながら元気に外遊びをして、寒さに負けない体づくりをしていきたいです。

節分には豆まき会を予定しています。みんなで元気に豆まきをして、泣き虫鬼や怒りんぼ鬼、イヤイヤ鬼を退治したいと思います。

今月は懇談会や、個人面談もあります。お忙しい中ではありますがぜひご参加ください。



「ゆきだるま」



「ゆきだるまさん」

雪❄️氷



「がりがり！ざくざく！」



「こおり～」



やったあ！
あたらしい
こうえんだ！



この頃は遊びも変化してきました。例えばおままごとでも「ごはんつくってるの」と各々で作って食べていましたが、誰かが「ママなの」といえば隣の子が「あかちゃんね、ばぶばぶ」と赤ちゃん役をしてみたり。「せんせい、ここがいたいんです」「はい、おくすりぬりぬりしてほうたいしますね」と患者と医師になってみたり、ごっこ遊びが進化しています。

見立て遊びも広がって、ひとつの物を色々なものに見立てて活用しています。イメージする力が育って来ているんですね。

また、簡単なルールが分かって、それを守っていると楽しく遊べることも感じているようです。子ども同士で「こっちからやるんだよ」とサーキットでの一方通行のルールを伝え合い、見事に並んでグルグルと障害物をクリアして楽しんでいて成長を感じます。



遊びも
パワーアップ！



